

システム構築不要の SaaS 型 e ラーニング 『Generalist / LM(SaaS)』

ビジネス環境の変化に伴い、人材育成の重要性が再認識されるなかで、特に改めて注目されているのが e ラーニング。その有用性は多くが認めるところだが、大掛かりなシステム導入に躊躇する企業も少なくない。そこで今回、システム構築が不要な SaaS 型 e ラーニングサービスを提供する東芝ソリューションの小野慎一氏に話を伺った。



小野 慎一 氏

東芝ソリューション株式会社
業務ソリューション事業部
Generalist 推進・技術部
部長代理

進む社員教育の見直し

企業間競争のグローバル化、市場拡大による商品や技術の多様化、商品のライフサイクルの短縮など、市場環境は大きく変化してきている。それに伴い、企業としてのスキル要件が急増、個々のビジネスパーソンには高いレベルでの問題意識と解決能力が求められている。こうした状況下、企業は人材教育を強化し、諸問題に対応できる人材を育成していく必要がある。

しかし一方では経済環境の悪化から、企業の教育費は削減され、特に交通費（移動コスト）、会場費、インストラクター費用、現場を離れるために生じるロスなどから、集合研修は敬遠される傾向が強くなっている。

そこで改めて注目が高まっているのが、個人学習。

特にいつでもどこでも学習が可能で、一人当たりのコストパフォーマンス

に優れる e ラーニングが見直されてきている。

これまでは“知識のインプット”のための学習法として認識されていた e ラーニングだが、近年は組織の“情報共有基盤”として活用されている様子。

再注目されている e ラーニングだが、導入にあたっては課題もある。それについて小野氏は、次のように述べる。

「e ラーニングを導入したいが、固定資産管理業務を発生させたくない、部署に割り当てられた教育費で手軽に e ラーニングを導入したい、情報システム担当がいなくても利用できるようにしたいという悩みは多いようです。そこで当社は SaaS 型の e ラーニングソリューション『Generalist / LM(SaaS)』を提供し、そうした悩みに対応しているのです」

SaaS 方式のメリット

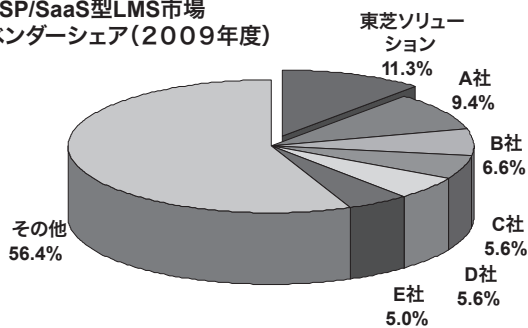
SaaS とは Software as a Service の略で、ソフトウェアをネットワーク経由のサービスとして提供・販売する形態のことである。本来は e ラーニングを導入する企業がシステムを構築し、それに伴うシステムの監視やメンテナンスを必要とするのだが、SaaS 型の e ラーニングサービスは、インターネットの接続環境さえあれば簡単に導入が可能だ。投資対効果が非常にシビアに問われる今、投資を抑えられるメリットは大きい。また、システムの監視が不要、固定資産とせず経費で処理可能な点も、大きな特長である。

もともと、東芝ソリューションでは 2001 年より、東芝グループの 10 万人に対し業務のアウトソーシングサービスとして ASP 型で e ラーニングを提供していた。ASP 型の場合も、e ラーニングでの利用が可能、

国内 ASP / SaaS 型 LMS 市場調査 3年間のトップシェア

東芝ソリューションは、日本国内における ASP/SaaS 型 LMS 市場で 3 年連続シェア No.1 を達成いたしました(2007 年度～ 2009 年度)。

ASP/SaaS型LMS市場
ベンダーシェア(2009年度)



ASP/SaaS型LMS市場:ベンダー別出荷金額シェア(2009年度)※予測値
出典:「ITR Market View LMS市場2010」

固定資産ではなく経費での処理が可能、システム監視が不要というメリットは同様だったが、SaaS 型が採用されて、次の点が変わった。

・月額定額料金方式

従来の利用人数及びコンテンツ数による従量課金方式から月額定額料金方式になった。

・自社システムのように自由に使える

従来は、基本的には閲覧機能のみの開放だったが、導入企業自身での受講者リストや研修コンテンツ登録も可能になった。

「自社システムを構築して e ラーニングを導入するのと、SaaS 型のサービスを利用する違いは、例えば集合研修を導入するのに研修施設を作るところから始めるのと、研修施設を借りてすぐに研修を始める位の違いがあるのです」

『Generalist / LM(SaaS)』とは

東芝ソリューションが提供する SaaS 型 e ラーニングソリューション

『Generalist / LM(SaaS)』は、導入する企業が、まるで自社システムのように e ラーニングを利用できるサービス。SaaS 型の特長である、システム不要でネット環境があれば導入可能、料金定額型、システム監視不要、経費での処理可能とい

った特長は無論全て持っている。

そのうえで、コンテンツ作成のためのオーサリングツールが非常に扱いやすく、PC の基本操作ができればオリジナルコンテンツが作成可能な点、学習・進捗管理機能を Web 上で利用でき、それが非常に容易である点は、特筆すべきところだ。

さらに、東芝ブランドならではの実績や安全性を兼ね備えている点が、多くのベンチャー系企業のサービスとの大きな違いだ。

東芝ソリューションは、国内 ASP / SaaS 型 LMS 市場では、過去 3 年間トップシェアを誇り、500 社以上の顧客に対してサービスを提供している。また、東芝グループ 10 万人が利用した運用実績を持ち、成功事例(また失敗事例も含めて)を豊富に有していることが、同社の大きな強みである。近年では、そうした実績を存分に活かし、大手保険会社とその代理店を含めた全国 120 万人を対象に、資格取得や受講履歴を一元管理する e ラーニングシ

ステムを約 10 カ月で構築。大人数、多拠点、そして代理店を含め一企業の枠を超えたなかでの教育を一人ひとり管理するという難題をクリアした。

また、日本能率協会マネジメントセンターが提供する、定額で一定期間何度でも学習できる e ラーニングサービス『e ラーニングライブラリ』を支えているのも、東芝ソリューションの『Generalist / LM(SaaS)』だ。急速に導入企業が増加している『e ラーニングライブラリ』だが、『Generalist / LM(SaaS)』の安全性や運用実績があるからこそ、より信頼を高めている面がある。

学習継続のポイント

通常、LMS の多くは、e ラーニング機能にのみ対応するのが普通である。『Generalist / LM(SaaS)』は、オプションとして通信教育や集合研修の実績管理や、それらを織り交ぜて効率よく学習するブレンディ

ングの管理までが可能だ。東芝ソリューションでは『Generalist / LM(SaaS)』の機能だけでなく、e ラーニングでの学習を継続させるためのノウハウを持ち、提案できる点も強みだ。

そのポイントは、以下の 3 点。

・ポイント 1 / 『柔軟性』

柔軟な管理体系 (10 階層の組織体系 / 仮想グループ体系)

柔軟な教材管理 (必要な人のみに教材情報を開示することが可能)

柔軟なメニュー表示 (ユーザー毎に利用する機能のみメニューが表示)



・ポイント2 / 『拡張性』

拡張性のある機能 (eラーニング機能版と、研修管理機能版、英語版など)

拡張性のある BPO サービス (運営をサポートするカスタメイドな業務支援サービス)

拡張性のあるシステム提案 (セキュリティ強化、システム連携などの多様なニーズに対応)

・ポイント3 / 『利便性』

便利な研修管理 (ブレンディング管理)

便利な教材作成機能 (使いやすい教材作成ツールがライセンスフリーで利用可能)

便利な研修効果測定機能 (アンケート結果、テスト結果分析、研修効果測定)

「結局、eラーニングは導入して終わりではなくて、使い続けていただくことに意味があるわけです。そのためは、教育をスムーズに実施する先ほどの3つのポイントと、内容を理解したと感じていただけるよ

うなコンテンツの在り方への配慮が重要です。その点でも当社は多くの実績から得たノウハウがありますから、機能に反映させたり、情報提供したり、次にどうするかといったところまでご提案することができるのです」

3段階の人材育成ソリューション

今後、同社ではeラーニング機能のみに限定した、100名単位の小規模ユーザーに向けたエントリー版を提供し、『Generalist / LM(SaaS)』のメリットを広く体感してもらうことを予定している。

eラーニングの定着・実施・運用をサポートする第1ステップ (『Generalist / LM(SaaS)』のエントリー版)、次に集合研修も含んだ全研修管理のサポートを第2ステップ (オプションを含む『Generalist / LM(SaaS)』)、そして最終的には社員の能力開発・学習ポータル構築を総合的に支援する第3ステップ

(『Generalist / CM(キャリアマネジメントシステム)』)

で、企業の人材育成を総合的に支援していきたいという。

「eラーニングに関しては、動画やストーリーミングに対する対応はもうすぐに発表できると思いますし、携帯やスマートフォンなどのモバイル対応についても取り組みを進めています。今後はeラーニングを起点に、企業の人材育成を支える総合的な人材育成ソリューションを提供していきたいと思います」

東芝ソリューションが教育コストの削減に悩む担当者はもちろん、総合的な教育体系の構築に悩む企業からも、さらに注目を集めることは間違いないだろう。

●お問合せ先
 東芝ソリューション株式会社
 〒183-8512
 東京都府中市片町3-22
 TEL: 042-340-6750
 E-mail: Generalist@toshiba-sol.co.jp
 URL: http://Generalist.toshiba-sol.co.jp